

株主のみなさまへ

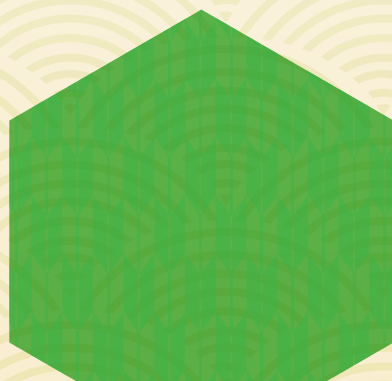
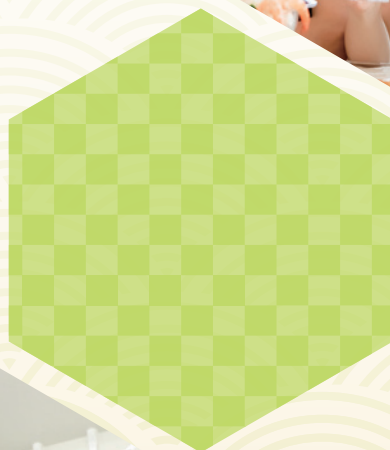


第111期 報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

INDEX

宝グループ概要	1
社長メッセージ	2
TOPICS	3
業績ハイライト	5
会社情報	6



宝ホールディングス株式会社

証券コード：2531



宝ホールディングス
グループ経営の統括

和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を提供する



宝酒造(国内事業)

売上構成比
39.8%

主な
事業内容

焼酎、清酒、ソフトアルコール飲料、
本みりん、食品調味料、原料用アル
コールなどの製造・販売

今後の戦略

和酒No.1メーカーの
ポジションを活用した
付加価値経営への変革



宝酒造インターナショナル
グループ(海外事業)

売上構成比
34.0%

主な
事業内容

酒類・調味料などの輸出および
海外子会社での製造販売、
海外の日本食材卸子会社における
酒類・食品などの輸入・販売

今後の戦略

国内事業との協業と
国内外でのグループシナジーの
さらなる発揮



タカラバイオグループ
(バイオ事業)

売上構成比
22.5%

主な
事業内容

試薬、機器などの製造・販売、受託、
遺伝子医療事業

今後の戦略

試薬・機器事業と
CDMO事業を通じた
バイオ創薬基盤技術の開発



2022年3月期累計期間売上構成比

長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」

▶ Vision (ありたい姿)

笑顔で繋がる豊かな暮らしを
～Smiles in Life～

宝グループは、おいしさを追求する技術と革新的なバイオ技術によって、和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を安全・安心に提供し続ける企業グループとなることで、人と人の繋がりと笑顔にあふれた健康的で豊かな日々の暮らしへの貢献を目指します。

▶ 事業戦略

宝酒造

国内の和酒No.1メーカーのポジションを活用した付加価値経営への変革によって、着実に利益成長できる事業基盤を再構築し、企業イメージを向上させてグローバル和酒No.1企業^(※1)としての根幹を支える。

※1: 国内+海外(輸出+現地生産)で和酒No.1

宝酒造インターナショナルグループ

グローバルな和酒の拡大を加速させるとともに、海外日本食材卸のネットワークの拡充を進めながら、国内外でのグループシナジーをさらに発揮し、海外における和酒・日本食材No.1企業^(※2)を目指す。

※2: 海外(輸出+現地生産)和酒No.1+海外日本食材卸No.1

タカラバイオグループ

試薬・機器事業とCDMO事業を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を進め、新モダリティ(治療法)を創出し続ける創薬企業を目指す。

宝グループ
中期経営計画2022

■ 基本方針

環境変化の兆しを掴みとり、強化すべき領域へ適切な経営資源の配分と投下を行い、収益力を高める多様な「価値」を生み出し続ける事業構造とグローバルなコーポレート機能の再構築を推し進めることで、国内外での持続的な成長の実現とグループの企業価値向上に向けて足元を固める。

社長メッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配をたまり厚くお礼申し上げます。

ここに、第111期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の宝グループ事業概況などについてご報告申し上げます。

■ 当期（2022年3月期）の業績概況

当期（2022年3月期）の業績につきましては、売上高は、海外事業の宝酒造インターナショナルグループが、主要都市での飲食店市場が急回復したことに加えて、日本食の浸透が進んだことで販売ルートが拡大し、増収となりました。タカラバイオグループでは、一般研究用試薬の増加に加え、新型コロナウイルスのPCR検査関連製品の伸長により増収となりました。国内事業の宝酒造は、新型コロナウイルス感染拡大による料飲店の営業自粛の影響や、2021年5月にソフトアルコール飲料の製品自主回収をしたことなどにより減収となりましたが、グループ全体の売上高は過去最高となる3,009億1,800万円（前期比8.1%増）となりました。また、海外売上高比率は45%にまで拡大しました。

利益面では、宝酒造は売上の減少や、原材料価格の上昇により減益となったものの、宝酒造インターナショナルグループ、タカラバイオグループとも売上高の増加に加えて原価率の改善があり、大幅な増益となりました。これに伴い、グループ全体の営業利益は433億5,400万円（前期比100.8%増）、経常利益は432億3,000万円（前期比97.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は207億6,900万円（前期比96.4%増）となり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに過去最高を更新しました。（セグメント別の売上高および営業利益につきましては、5ページをご覧ください。）

■ 次期（2023年3月期）の見通しについて

中期経営計画の最終年度となる次期連結業績は、売上高3,010億円（前期比0.0%増）、営業利益300億円（前期比30.8%減）、経常利益304億円（前期比29.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益160億円（前期比23.0%減）を計画



代表取締役社長

木村 睦

しています。

次期につきましては、タカラバイオグループにおいて、新型コロナウイルスPCR検査関連試薬の需要の大幅な減少が見込まれるため、グループ全体では減益となりますが、2年前の2021年3月期との比較では、売上高、各利益項目とも上回る計画となっております。宝酒造では高付加価値商品の拡売や価格改定等により増益を見込むとともに、宝酒造インターナショナルグループにおいても、海外での日本食の広がりを背景に料飲店ルートの深耕や小売販売ルートの開拓を進め、増益を見込んでおります。また、タカラバイオグループでは、堅調に推移する一般研究用試薬や再生医療等製品関連受託などで増収を見込むとともに、新製品開発や技術開発にも力を入れてまいります。

■ 企業価値向上にむけて

当社グループでは、長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」のビジョン（＝ありたい姿）に掲げる「笑顔で繋がる豊かな暮らしを～Smiles in Life～」の実現に向け、宝グループ中期経営計画2022の推進とともに、社会・環境課題に対する基本的な考え方を示す「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」のもとで取り組みを進めています。事業活動を通じて社会的価値を創造することで、持続可能な社会づくりに貢献していきたいと考えております。

株主の皆様には、引き続き当社グループへの温かいご支援をたまりますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2022年6月

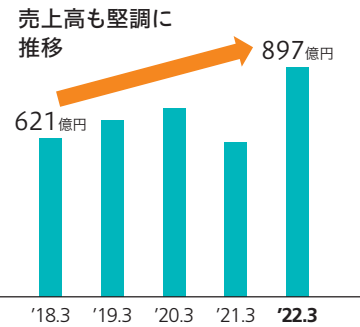
宝酒造インターナショナルグループ

和酒・日本食の文化を世界に

～宝酒造インターナショナルグループの海外日本食材卸事業ネットワーク～

宝酒造インターナショナルグループは2010年にフランス最大の日本食材卸会社フーデックス社をパートナーに迎え入れ、海外日本食材卸事業に参入しました。以後、2013年にイギリスのタザキフーズ社、2016年にアメリカのミューチャルトレーディング社、2017年にはオーストラリアのニッポンフード社をグループに加え、ネットワークを拡充し、世界15カ国で事業所を展開しています。

■宝酒造インターナショナルグループの海外日本食材卸事業の売上高推移



① フーデックスグループ
FOODEX S.A.S.



フランスのみならず、9カ国12拠点のネットワークをもつ欧州最大の日本食材卸会社です。メニュー提案や日本の新たな食材の紹介なども積極的に行っています。



② ミューチャルトレーディング社
Mutual Trading Co., Inc.



1926年設立の米国で有数の歴史をもつ日本食材卸会社。米国における日本食材卸事業のパイオニアとして日本の食文化を現地に広めてきました。

和酒・日本食の情報発信

ショールームでは、宝酒造インターナショナルと共同開発した日本酒L'ATELIER DU SAKE (アトリエ・デュ・サケ)を中心に、和酒の情報発信を行っています。また、商談会では著名シェフによるメニュー提案など、日本食の魅力も発信しています。



商談会の様子

「L'ATELIER DU SAKE」
<大吟醸>

和酒・日本食の文化の啓発活動

ミューチャルトレーディング社では、本格的な日本食の職人を養成する「Miyako Sushi & Washoku School」や和酒に関する知識を習得させる「Sake School of America」などを運営し、和酒・日本食の文化の啓発活動に熱心に取り組んでいます。



Sushi & Washoku School



③ タザキフーズ社
Tazaki Foods Ltd.



英国最大の日本食材卸会社。和酒専門のマーケティング・マネージャーによる和酒勉強会やメニュー提案など「和酒」の専門性が高いことも特徴です。

オリジナルブランド「Yutaka」による日本食提案

タザキフーズのオリジナルブランド商品「Yutaka」は、現在では160アイテム以上の品揃えを誇り、英国のみならず、EUをはじめとした29カ国以上に輸出されています。注目が集まっているヴィーガン対応商品やグルテンフリー対応商品などの幅広い提案を行っています。



オリジナルブランド商品「Yutaka」



④ ニッポンフード社



Nippon Food Supplies Company Pty Ltd.



オーストラリア最大の都市シドニーに本社を、メルボルン、ブリスベン、パースに支店を設置し、全豪で事業を展開する有数の日本食材卸会社です。

⑤ 東京共同貿易株式会社



Tokyo Mutual Trading Co., Ltd.



「食文化を通じて、世界と日本のかけはしに」をモットーに、魅力的な日本の商材を発掘し、海外日本食材卸グループの事業をバックアップしています。



「香る和酒」— 松竹梅「昴」〈生貯蔵酒〉、全量芋焼酎「ISAINA」新発売

コロナ禍で生活様式が大きく変化することで、自宅での飲用シーンが増え、和酒市場においては、「若年層新規ユーザーの拡大」や「香り系和酒商品の伸長」という2つの新しいトレンドが生まれています。

そのような環境のなか、宝酒造では今年2月に、香り高い日本酒と焼酎を新発売しました。

“松竹梅「昴」〈生貯蔵酒〉”は、宝酒造の独自開発した酵母により、通常の吟醸酒の2倍以上^{*}の香り成分を生成するとともに、搾ったお酒を0℃に近い温度で低温貯蔵することで、高い香りを閉じ込めました。爽やかな果実感は、すっきりと清廉な口当たりと、しぼりたてのような旨みをもたらしています。和食だけでなく、洋食にもぴったりで、日常の晩酌を華やかに彩る新しい日本酒として市場を創造していきます。



松竹梅「昴」〈生貯蔵酒〉

^{*} 当社吟醸酒比。
このお酒は吟醸酒ではありません。

“全量芋焼酎「ISAINA」”は、飲み方によって香りが変わる新感覚の“異彩な”本格芋焼酎です。「炭酸割り」では、宝酒造独自の「かおり酵母」によりみずみずしいリングを思わせるフルーティーな香りが引き立ちます。すっきりとした飲み口は味の濃い料理などとも相性がよく、チューハイ感覚で楽しんでいただくことができます。一方、「ロック」では、麴まで芋を使用した「全量芋焼酎」により、まるでやき芋のようなほっこり甘い香りが堪能でき、食中酒としてはもちろん、食後のリラックスタイムのお酒としても最適です。また、従来の本格焼酎がもつ和の世界観から一線を画すボトルデザインも特徴です。見る角度によって表情が変わるホログラムで「変化する香り」を表現しています。宝酒造では、和酒No.1企業として、新たなトレンドの高まりを大きなチャンスと捉え、「香る和酒」の市場の拡大に注力してまいります。



全量芋焼酎「ISAINA」

タカラバイオグループ

mRNAワクチンの開発試薬を発売

タカラバイオは、メッセンジャーRNA(以下、mRNA)合成を効率的に行うためのmRNAワクチン開発用試薬「Takara IVTproTM mRNA Synthesis System」を2022年3月より発売しました。

mRNAは、私たちの体の中では、遺伝子情報をタンパク質に変換する機能を持つ重要な分子です。最近では、この性質を応用して、新型コロナウイルスに対するワクチンとして利用されました。製薬企業やバイオベンチャーなどでは、他の感染症のワクチンやがんなどの治療薬としての開発も進んでおり、開発の競争が激しくなっています。

本試薬は、このようなmRNAを使用したワクチンや治療薬の開発者向けの製品です。mRNA合成の際の鋳型となるDNAを迅速・簡便に作製する試薬のほか、鋳型DNAからmRNAを合成する試薬で構成されます。mRNA合成の反応条件を最適化しているため、当社従来

製品に比較して約6倍と、mRNAを高収量に合成できます。また、合成したmRNAは、ワクチンや治療薬などの各種研究に使用しやすいよう、mRNAの構造や精製方法に工夫を加えています。

タカラバイオでは、遺伝子工学、細胞工学研究用製品の豊富な開発経験で培った技術・ノウハウを活用し、mRNAワクチン開発を強力にサポートしていきます。

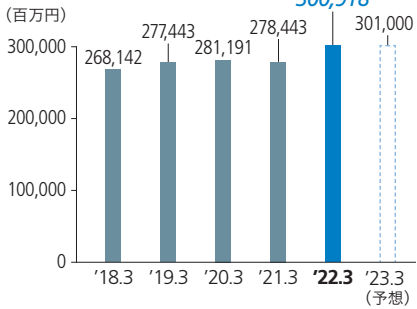


Takara IVTproTM mRNA Synthesis System

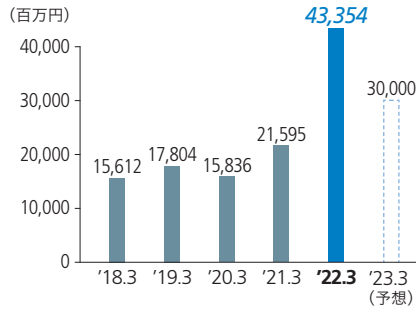
業績ハイライト

宝グループ連結

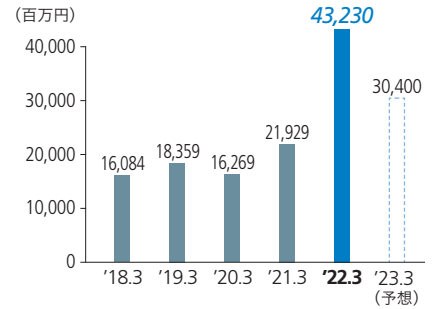
売上高



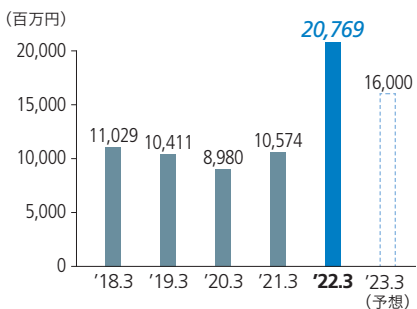
営業利益



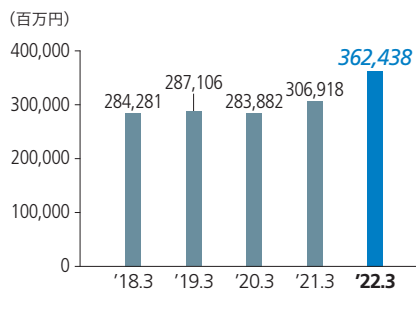
経常利益



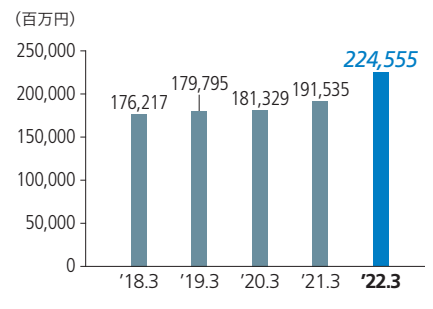
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



純資産

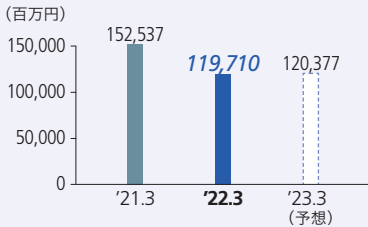


(注) 2019年3月期より税効果会計基準の一部改正を適用しており、2018年3月期の数値については一部組み替えて表示しています。

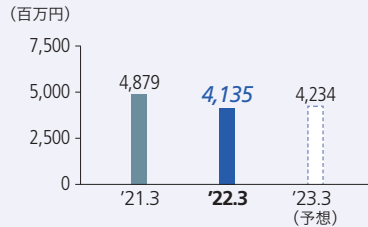
(注) 2022年3月期より、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、従来販売費及び一般管理費で処理していた費用の一部を売上高から控除しております。

宝酒造

売上高



営業利益

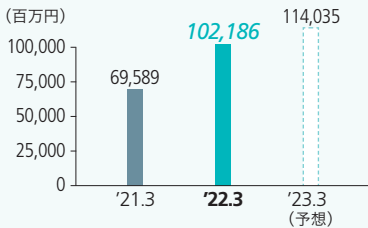


新型コロナウイルス感染症での料飲店の営業自粛などによる清酒の減少や前期特需のあった原料用アルコールの減少に加えて、ソフトアルコール飲料の製品自主回収の影響もあり減収となりました。営業利益は、原料高によるコストアップなどの影響を受け、対前期15.2%減となりました。

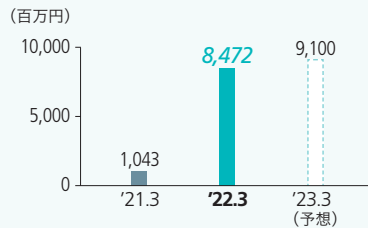
※2021年3月期売上高は収益認識に関する会計基準等の適用前の数字になっています。

宝酒造インターナショナルグループ

売上高



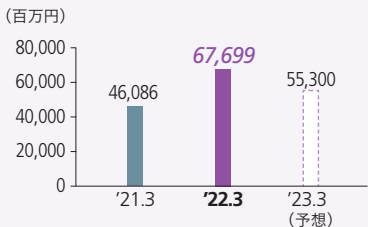
営業利益



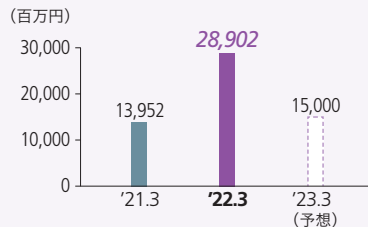
主要都市でのレストラン営業再開に伴い売上が急回復したことに加えて、小売店向けの販売強化やネット販売など販売ルートが拡大し、海外酒類事業、海外食材卸事業ともに増収となりました。営業利益は、売上の増加と原価率の改善などにより、前期から74億円の増益となりました。

タカラバイオグループ

売上高



営業利益



売上高は、新型コロナウイルスによる世界的な研究活動の低下の影響で低迷していた一般研究用試薬が回復し過去最高となるとともに、新型コロナウイルスのPCR検査関連試薬が大幅に伸長したことにより、増収となりました。営業利益は、売上の増加に加え、原価率が改善したことなどにより、対前期107.1%増となりました。

会社情報 (2022年3月31日現在)

◆ 会社概要

商号	宝ホールディングス株式会社 (英文表記: TAKARA HOLDINGS INC.)
本店所在地	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地 TEL 075-241-5130
設立	1925年(大正14年)9月6日
資本金	132億2,621万5,144円
従業員数	184名(グループ連結:4,934名) (2022年3月31日現在)
連結対象会社	59社

◆ 取締役および監査役 (2022年6月29日現在)

代表取締役社長	木村 睦
常務取締役	高橋 秀夫
取締役	仲尾 功一
取締役	森 圭助
取締役(社外取締役)	吉田 寿彦
取締役(社外取締役)	友常 理子
取締役(社外取締役)	川上 智子
常勤監査役	三井 照明
常勤監査役(社外監査役)	山中 俊人
常勤監査役	鈴木 洋一
常勤監査役(社外監査役)	松永 諭
監査役(社外監査役)	北井 久美子

◆ 株式の状況

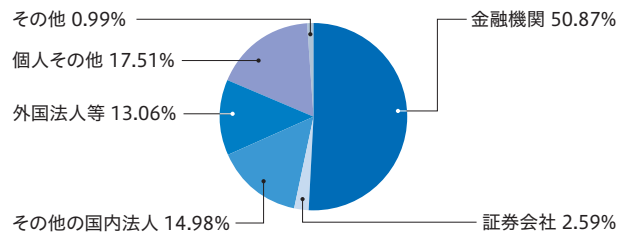
発行可能株式総数	870,000,000株
発行済株式総数	199,699,743株
株主数	49,592名

◆ 大株主(上位10名)

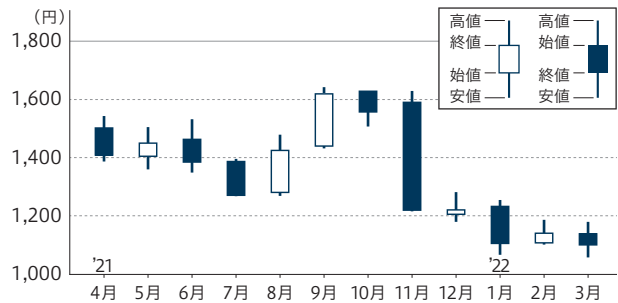
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	38,365	19.41
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	12,627	6.39
株式会社みずほ銀行	9,738	4.93
農林中央金庫	9,500	4.81
明治田舎生命保険相互会社	5,370	2.72
株式会社京都銀行	5,000	2.53
東京海上日動火災保険株式会社	3,878	1.96
国分グループ本社株式会社	3,489	1.77
宝グループ社員持株会	3,115	1.58
日本アルコール販売株式会社	3,000	1.52

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てております。
2. 持株比率は、自己株式(1,995千株)を控除して計算しております。

◆ 所有者別株式分布状況



◆ 株価の推移



サステナビリティ News

商品パッケージに純アルコール量を表示

宝酒造は、1995年から商品パッケージに未成年者飲酒禁止などの表示を行い、2004年からは妊娠中や授乳期の飲酒防止のため、妊産婦飲酒に関する注意表示を表記しています。純アルコール量の開示については、2021年4月より、宝酒造のウェブサイト上でソフトアルコール飲料から開始し、その他のカテゴリーの商品についても開示をしました。

商品パッケージには2021年発売のタカラcanチューハイ「すみか」に、当社としてはじめて純アルコール量を表示し、この春からはタカラ「焼酎ハイボール」シリーズ、實「丸おろし」シリーズにも表示を開始。今後も順次表示をしていき、2025年度までには、国内で販売するすべての消費者向け商品(酒類調味料除く)に表示する方針です。

純アルコール量:20g
(350ml当たり)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	● 定時株主総会(議決権行使)、期末配当 毎年3月31日 ● その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
上場取引所	東証プライム市場
証券コード	2531

公告方法	電子公告により、当社ウェブサイトに掲載します。(https://www.takara.co.jp) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、京都新聞および日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株式に関するお問合せ先	以下の表をご覧ください。

主なお手續、ご照会内容	お問合せ先
住所・氏名等のご変更 口座の残高照会 配当金の受取方法の指定	口座を開設されている証券会社等 (注) 特別口座に記録されている株式については、下記のみずほ信託銀行 証券代行部までお問合せください。
未払配当金に関するご照会 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 特別口座から一般口座への株式の振替手續 その他株式事務に関する一般的なお問合せ	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話番号(フリーダイヤル): 0120-288-324(土・日・祝日を除く9時~17時)

特別口座で株式を保有されている方へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場での売買はできません。株式市場における株式売買のためには、証券会社にお取引口座を開設し、みずほ信託銀行の特別口座からの株式の振替手續が必要となります。

単元未満株式を保有されている方へ

単元未満株式(100株未満株式)をお持ちの場合、会社に対して、次の請求を行うことができます。

1. 単元未満株式の買取りを請求する(買取請求)
2. 単元株式(100株)にするため、不足する株数の株式の売渡しを請求する(買増請求)

お問合せ先

証券会社の口座で管理されている単元未満株式
▶ 口座を開設されている証券会社
特別口座で管理されている単元未満株式
▶ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

株主優待制度について

当社は、毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、当社株式100株以上を所有されている株主様を対象とした株主優待制度を実施しています。

● 優待内容 (2022年3月期)

当社株式の所有数に応じて以下の優待品を贈呈いたします。

100株以上1,000株未満	1,000円相当
1,000株以上	3,000円相当

左記金額相当の酒類詰め合わせ、調味料詰め合わせより1点選択(優待品に代えて社会貢献活動への寄付も選択可)



1,000株以上 3,000円相当の「(酒類)詰め合わせ」



1,000株以上 3,000円相当の「(調味料)詰め合わせ」

● お申込みについて

2022年6月上旬にご送付しております当社第111回定時株主総会招集ご通知に同封のお申込書に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

お申込み期限：

2022年8月1日(月) 消印有効

まだお申込みでない方はお早めにお申込みください。

ウェブサイトのご案内

宝ホールディングスのウェブサイトでは、ニュースリリースやIR情報など、最新の情報を掲載しています。また、グループ各社のウェブサイトでは、商品や事業の詳しい情報をご覧いただけるほか、オンラインショップもご利用いただけます。

www.takara.co.jp

(注) この報告書に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、実際の業績等は、予期しない経済状況の変化をはじめさまざまな要因により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、環境に配慮した植物油インキと、適切に管理されたFSC® 認証林からの原材料および再生資源から作られた紙を使用して制作されています。